



## 講義：人物と空間

今回のセミナーのテーマは「人物と空間」でした。講義では、19世紀～20世紀の代表的なアーティストの、人と空間をフォーカスした作品を紹介しました。何世紀にもわたって、巨匠たちは特定の物語を表現し、雰囲気を作り出すために人物や空間をどのように使用してきたか。個々の人物は、特定の建築物の中の単なる物体ではなく、色や遠近法などを巧みに使い、描かれた存在の感情を表現し、空間と人間が能動的な関係を形成しています。マイヤーは、絵画の本質的な重要な要素とその意味を説明しました。

### 実習－人物と空間を描く



空間と人物について説明を受ける参加者

#### 一筆描きで周りの人を描く

まずはウォームアップとして鉛筆で一筆描きが行われました。小さいスケッチペーパーを使用し、人物を一筆で描き続けることを練習しました。

「手を止めてしまうと迷いが出てしまいます。とにかく描き続けることが大事」というマイヤー氏。参加学生は新しい経験に向き合いました。

#### 周りに座る人を鉛筆で描く

次の課題では、周りにいる人を利き手ではない方の手で描きました。『利き手はいつも考えている。自分の感性を信じて描いて』と、マイヤー先生。



和やかに制作する学生たち

## 水彩絵の具を使って自由に描く



学生の質問に答えるマイヤー先生

最後の課題は、大きい方のスケッチペーパーに、自分の周りにいる人とその周りの空間を、水彩絵の具を使って自由に描くことです。学生たちは好きな色の絵の具を使って作品を制作しました。



マイヤー先生の解説を熱心に聞く学生たち

その後学生達はペアになって、お互いに相手の描いた絵について感想を言い合いました。どの絵も個性溢れる素晴らしいアート作品になりました。最後にマイヤー氏からコメントがあり、学生たちは熱心に聞いていました。



マイヤー先生の講義は終始エネルギーに溢れていた

## 参加した学生の声

○自由に描くのが楽しかったです。セミナーの後に先生とお話する時間があり、個々に絵への感想を伺えて嬉しかったです。英語で他の学生とコミュニケーションをとるのがとても難しかったです。

○今回のセミナーは自分の好きな芸術的思考方をもとに、絵画を描く初めての体験となりました。そのため、今後のセミナーでもより平面的になっていく芸術とともに様々なイベントがあると嬉しいと感じました！

○I really enjoy this seminar and learned a lot

○今までにないくらい自由になって、絵を描くことができました。とても気に入っています。ありがとうございました。

○It deepen my interest in art and I think it's meaningful to feel the presence of human in the space and express it through drawing and colouring directly.

○普段使わない感覚、触れることがない分野なので、非常に感化されました。それぞれのお題と目的をもう少し分かりやすく（例えば口頭だけでなく、スライド・資料などで示すなど）していただければ良かったです。描く対象を勘違いして進めてしまっている人や、自分自身もお題を描いた後の種明かしのものを期待してしまっていたので。



学生の作品の一例-どれも素晴らしいアート作品に仕上がった

次回のアートセミナーは、2024年5月に大岡山で開催を予定しています。

**お問い合わせ先**

Email [internationalstudentsupport@jim.titech.ac.jp](mailto:internationalstudentsupport@jim.titech.ac.jp)

**学生支援センター**

Tel 03-5734-2760